

第3期中間報告会開催

REF第三期(通算第三十六期)中間報告会が二月十二日(金)アオッサで開催された。今回は「水分科会」「地象分科会」「交通分科会」「県境道路分科会」「名古屋分科会」の五分科会によるこれまでの活動報告及び新規入会者ついて報告された。

加藤哲男理事長からの挨拶に始まり、窪田吉倫氏の司会のもと、各発表時間八分、講評二分の時間内でそれぞれの分科会の発表、講評が行なわれた。報告後には、宮本好昭氏による総評が行われた。

報告会終了後、会場を移し懇親会が開かれ、終始和やかな雰囲気では会員相互の交流が深められた。



第3期中間報告会

【水分科会】

発表 嶋田 良和
講評 千谷 俊之

「河川歴史・文化について」

〜若狭地方の事例〜

河川は、人々の生活に密接に関連しながら時代の要請に応じて、治水、利水、環境を取り込んで整備が進められてきた。特に環境については、自然環境はもとより歴史・文化にも配慮がなされている。今回は、福井県の若狭地方の比較的規模の大きな河川として、一級河川北川と地域とのつながりの状況を、特に歴史・文化について取りまとめを行うこととした。

北川は古代都市奈良および京都と大陸を結ぶ玄関口であり、若狭地方は大和政権の御食国として栄えていた。また全国でも有数の水質の良さを誇り、流域内には名水百選に選ばれている「瓜割の滝」や「鶴の瀬」がある。今回は、北川流域内の歴史的な行事として「お水送り」、治水の歴史的な施設である「霞堤」、文化的な場所として「瓜割の滝」、「雲城水」、歴史や文化を景観的に取り組んだ北川に架かる橋「こうのとりの大橋」を調査対象とした。

文献調査に基づき、今後現地調査を実施していく予定である内容については、「お水送り」、行事の内容、雰囲気、周辺の整備状況、「霞堤」、普段の土地利用、開口部の状況、「瓜割の滝」、「雲城水」、利用状況、水質の状況、周辺の整備状況、「こうのとりの大橋」、デザインコンセプトと実際の見え方、経年変化の状況である。

【地象分科会】

発表 窪田 吉倫
講評 田辺 毅

「福井の地名から学ぶ防災・減災について」

大雨などの防災・減災を考えるにあたって、気象と並ぶ重要な要素として地形が挙げられる。河川に近ければ、増水・越水対策、窪んだ土地であれば、浸水被害対策、山に面しているのであれば、土砂災害などの対策が必要になってくる。地形を理解することは対策を講ずる上で、必要な知識となることは言うまでもない。そのような地形を読み解くにあたって、切り離せないものが、地名である。地名はその地域が、過去にどのような地形であったのか、どのような災害が起こり得るのかといった、災害リスクを把握するのに有用な要素だといえる。今年度は、そんな地名に着目し、地形や防災について考えていく。

今回の現地調査については、地名の歴史と地形に詳しい、街道先生を交え、福井市内の調査を行った。現地調査の選定にあたっては、8月に行われた先生の講演会で取り上げられた個所とその付近の特徴のある個所を中心として4箇所について調査を行った。①久喜津町・下江守町、丘の跡地と工業団地の状況②久喜津町(輪中)輪中の痕跡③狐橋・若杉町・高塚町、狐川の上下流の河川状況④渡町・水越・若杉浜・加茂河原、旧足羽川跡地と現状についてである。

現地調査は10月12日に実施された。当日は曇り空で天候が心配されたものの、時折の小雨程度でおさまり、徒歩による調査は順調なものとなった。

【交通分科会】

発表 藤田 亜美
講評 福 秀則

「交通路としての運河の役割に関する 歴史的考察（その2）」

運河とは、「水運を目的として人工的につくられた水路」であると定義されており、古くはローマ時代から主要な交通施設として人々に親しまれてきた。水運は日本においても、江戸時代から明治期にかけて我が国の重要な輸送手段の1つであった。そのため、主要な町の近くには必ず水路が存在していた。しかし、鉄道や高速道路などの新しい交通体系が形成されたため、過去の遺産となってしまうものの、人々の親水空間を生み出すなどの新たな利用方法を得て人々の知恵と工夫次第で都市の空間再生・自然再生に役に立つ可能性を秘めている。

NPO第3期交通分科会では、前年度に引き続き分析対象運河を増やし、現地調査及び資料・文献調査から運河の歴史的背景や現状等を探ることとした。これらを踏まえ、水辺空間を含めた運河の今後の新しい方向性を見出したい。

現地調査・文献調査を7か所、海外事例調査を2か所実施した。①富岩運河、②道頓堀、③舟頭閉間門、④芝浦東運河、⑤琵琶湖疎水、⑥小名木川、⑦ドナウ運河、⑧キール運河、⑨秋田運河、⑩浦見川、福井の事例調査としては、4月に浦見川の現地調査の実施を予定している。

調査結果をもとに、今後は運河の位置づけ（交通・排水・防災など）や周辺立地施設との関連性、まちづくりとの関係について整理していく予定である。

【県境道路分科会】

発表 橋本 拓己
講評 吉村 朋矩

「人口減少、高齢化、国際化（観光）時代 における県境道路の在り方」

近年の幹線道路網の整備の進展に伴い、縦貫・横断路線が有機的に連絡して広域的な周遊ルート形成するようになってきた。県境部はさんだルートの選択肢が多様化し、災害時の非難や救援活動、県胸部の過疎地域の維持・再生、観光交通への寄与が期待される。福井県においてはその効果はほとんど発現していないが、平成27年訪日外客数が1970万人余りと観光の国際化が大きく進展している。

このような背景のもと今期は、人口減少、高齢化、国際化（観光）時代における県境道路のあり方、活用方策を主要テーマにして分科会活動を進める。

文献資料収集では、国土のグランドデザイン2050、国土形成計画などの全国計画に関する資料や広域地方計画における福井県の位置づけ、北陸新幹線の開通効果や舞若道の開通効果などの資料を収集している。

愛知大学三遠南信地域連携研究センター編集・発行の「越境地域政策への視点」という文献を輪読することとしている。本文献は、38論文が掲載されており、越境地域の歴史文化、ガバナンス、生活・コミュニティ、基盤整備、産業経済、リスク管理及び政策情報の7章で構成されている。

【名古屋分科会】

発表 加藤 哲男
講評 丸中 孝通

「道路交通の安全性に関する文献調査研究」

21世のまちづくりの課題として、「安心・安全なまちづくり」が謳われて久しい。わが国は、地震や風水害など自然災害に見舞われやすい地理的特性を有することから、安心・安全といえ、まず「防災」が取り上げられがちである。しかし、日々の生活では、より頻繁に発生する「防犯」や「交通安全」に対するニーズもある。超高齢社会になり、「福祉」についても安心・安全に関する課題の一つといえよう。本研究では、特に道路交通における「交通安全」に着目し、情報技術などが発展してきた最近20年間に公表された道路交通の安全性に関する調査研究や事業の文献を調査し、今後実施すべき研究課題や政策等について考察するものである。

学会誌・論文集・雑誌における調査研究文献を整理する場合は、Haddon Matrixを参考に、主たる研究の内容に基づいて、「段階」と「要因」のマトリクスで分類し、該当個所に文献番号を記入していく。また、その際、調査研究の対象・視点に応じて、自動車(◎)、自転車(○)、歩行者(生活者)(□)、乗客・来街者(△)、その他(▲)の記号を各文献番号の前付与することで整理している。

文献のレビュー期間は1995年以降の20年間程度とし、各委員が整理した跡、研究会で確認・議論して決定している。

今年度中に、各担当分の文献についてはある程度整理し終えることを目標としたい。



発表を行う加藤氏、講評を行う丸中氏



発表を行う藤田氏、講評を行う福氏



発表を行う島田氏、講評を行う千谷氏



発表を行う橋本氏、講評を行う吉村氏



発表を行う窪田氏、講評を行う田辺氏



加藤氏のあいさつ



総評を行う宮本氏

【第三期 幹事会開催】

第三期第一回幹事会が六月十八日(木)、第二回幹事会が七月二七日(月)、第三回幹事会が一月二五日(月)に福井大学等にて行われた。

議題としては、第一回幹事会では、各部門の本年度計画について意見交換、REFニュースの発送と会費請求、REF総会・報告会等に向けた準備・調整、ホームページなどについての報告がされた。第二回幹事会では、機関紙の発送、メールマガジンの開設・メンテ等についての報告がされた。第三回幹事会では、REF中間報告会の発表に向けた準備・調整などについて報告がされた。

【第三期活動報告会・総会開催予定】

第三期活動報告会・総会は次の日程で開催予定です。

日時 平成二八年七月二日(土) 午後
場所 織協ビル8階

☆入会のお知らせ☆ (敬称略)

《入会》
正会員 なし
賛助会員 藤田 亜美
平成28年3月末現在
正会員 73名
賛助会員 25名
合計 98名

【会費の納入について】

会費の納入をお願いします。

■年会費

正会員 .. 12,000円
賛助会員 .. 3,000円

■会費納入先

《振込みの場合》

ゆうちょ銀行
振替口座 7300320396
福井地域環境研究会

※機関紙巻末の振込用紙をご利用ください。

《直接支払う場合》

総会、中間報告会、談話会等開催時、または、左記、財務幹事まで直接お支払ください。

【財務幹事】

〒910-8580
福井県福井市大手3丁目17-1
福井県土木部砂防防災課

福 秀則

TBL 0776-20-0495

Mail h-fuku-nl@pref.fukui.lg.jp